

# ご用聞き

熊本市現代美術館の館長が  
市役所にご用聞きに行く理由



ご用命は熊本市現代美術館（ご用聞き担当）

**☎ 096-278-7500 まで！**

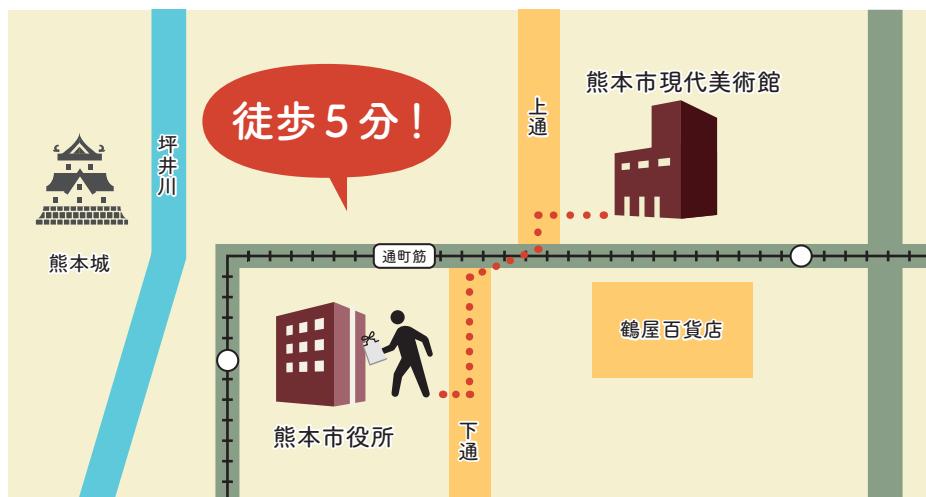


# ご用聞き

熊本市現代美術館の館長が  
市役所にご用聞きに行く理由

0号

熊本市現代美術館から熊本市役所までは…



歩いて「ご用聞き」に伺います！

## CONTENTS

はじめに	「ご用を聞くってどういうこと？」	02
訪問録	2021－2022年度のご用聞き	04
アンケート	参加した市役所職員に聞いてみました！	08
館長インタビュー	「モヤモヤした心を片付けないために」	14

## はじめに ご用を聞くってどういうこと？

熊本市現代美術館では、仕事の課題やお悩みについて日比野克彦館長と話してみたいという（主として）熊本市役所各課からの相談をお受けしています。名付けて「ご用聞き」。

相談内容はさまざままで、事業内容のことであれば、職場の課題、人材育成、市民との関わり、もっと大きく市役所をどうしていくか、なんていうことも。

「三河屋さん、娘の誕生日に洋風のお料理つくってあげたいんだけど、うち、和風の出汁しかなくて。美味しい洋風出汁ないかしら」的な課題を持つ皆さんに何をお届けできるのか、毎回真剣勝負です。

皆さんがご用聞きで聞きたいと思っているのは「こうすれば良い」という答え、あるいは課題解決の方針性。でも、店主である日比野館長と話し始めると、相談の軸が少しずつ変化していきます。

お客様が本当にほしいものは「洋風出汁」ではなく「娘さんの喜ぶ顔」。例えば、最初のご用は「地域の格差を解決するための方法」

だったけれど、話しているうちに、本当に必要なのは「同じであることではなくて、お互いの違いや自分にない良さを認め合えること」だと気がつく、という感じでしょうか。

皆さん、日比野館長と対話する中で、自分の中のモヤモヤを整理したり、原点に返ってみたりしておられるような気がします。おもしろいのは、立ち返る場所が市職員としての「原点」ではなくその人としての「原点」であること。市役所の〇〇課の職員としてはもちろんですが、その前に「何某」という名前を持ったひとりの人としてその課題に向き合った時に、日比野館長の言葉が腑に落ちる瞬間があるのではないかと思います。

「アートとは人の心を動かすもの」だと日比野館長は話します。だとすれば、店主と話したあとの皆さんの顔がイキイキして、声が明るくなっているこの現象はなんだ？もしかしたら「ご用聞き」はアートなのか？と、ご用聞きに同行する丁稚は思い

始めています。

また、「市民のご用が集まっているのが市役所である」と日比野館長は言います。確かに、どの課に伺っても、市民が不自由なく、より幸せに暮らせるためのあらゆるご用（課題・ニーズ）に向き合っておられます。

とは言え、わかりにくくて複雑な行政サービスに市民は反発を感じたり無関心だったりで、職員の皆さん心も萎えていきがち…。

でも。もし本当に「アートが人の心を動かすもの」で、市役所の仕事が「市民のご用（課題・ニーズ）聞き」だとしたら。市民の心を動かすことができれば、市民の皆さん顔もイキイキとするのでは？？そこには必要なのはもしかしてアートなので？ご用聞きを通じて、そんな可能性を感じ始めています。



2023年3月時点でのべ24回のご用聞きに伺いましたが、熊本市の組織図に落としてみると、200ある課のうちまだたったの13箇所。継続してお伺いしたいところはもちろん、お約束したまま伺えていないところや、これからぜひご用聞きに飛び込みたいところがまだ187箇所もあります。

ご用命は裏面のQRコードから。

うちの店主（館長）にご用を聞いてもらわなきゃ損ですよ！

丁稚（熊本市現代美術館副館長）

岩崎千夏

① アート、何ですか？

→ アートって「もの」じゃない。

「もの」に触れて見て、会って「わー！」と思うのは「人」。かけは「人」にある。



# 訪問録 2021年－2022年度のご用聞き

	月日	部署	ご用	参加人数	
				職員	市民
1	2021.11.26	都市建設局	市街地整備課／都市デザイン課	ウォーカブル推進都市について	9
2	2021.10.20	都市建設局	道路計画課／都市デザイン課	MOBILE LEGO LAMPについて	3 2
3	2021.11.28	都市建設局	道路計画課／都市デザイン課／市街地整備課	MOBILE LEGO LAMP ワークショップ	5 30
4	2022.01.25	* 混合	文化政策課／政策企画課／環境政策課／起業・新産業支援室／公園課	混合相談会 ・公園活用 ・総合計画見直しなど	8
5	2022.01.26	都市建設局	道路保全課	地下通路の活用方法について	4
6	2022.02.04	政策局	国際課	ローカルフェアトレードシティくまもとについて	3
7	2022.02.05	教育委員会	青少年教育課	教育エコシステムについて	3
8	2022.03.13	政策局	政策企画課	総合計画見直しについて	3
9	2022.04.12	文化市民局	文化政策課	文化政策課の事業について	5
10	2022.04.22	政策局	政策企画課／（幸田まちづくりセンター）	総合計画見直しについて	4
11	2022.05.17	南区役所	幸田まちづくりセンター／（政策企画課）	これからのまちづくりについて	5
12	2022.07.22	経済観光局	企業・新産業支援室	起業家の支援について	2 2
13	2022.08.12	経済観光局	企業・新産業支援室	起業家の支援について	2 2
14	2022.08.19	南区役所	幸田まちづくりセンター	幸田まちづくりサロン	5 30
15	2022.08.25	交通局	運行管理課／総務課	熊本市電のブランドアップについて	12
16	2022.09.12	政策局	東京事務所	熊本市の魅力向上や発信について	4 1
17	2022.09.16	教育委員会	青少年教育課	教育とアートについて	3 15
18	2022.09.30	経済観光局	企業・新産業支援室	アートとWeb3の連携について	2 2
19	2022.10.21	* 混合	文化創造部／文化政策課／文化課／幸田まちづくりセンター／市街地整備課／公園課	混合相談会 ・アート思考について	6
20	2022.11.19	南区役所	幸田まちづくりセンター	幸田まちづくりサロン【おでかけ版】in 平成中央公園	4 20
21	2022.12.27	教育委員会	青少年教育課	学校がワクワクする場所になるために	3
22	2023.01.07	都市建設局	市街地整備課	上之裏通りのプランディングについて	2 7
23	2023.01.25	政策局	国際課	在住外国人について	3
24	2023.02.12	都市建設局	市街地整備課	子飼商店街のまちづくりについて	2 1
				102	112



多様が過ぎると  
没個性になる  
多目的が過ぎると  
中途半端になる



あまり構えずに、  
楽い中でこれまで  
言葉を集める



ネガティブな発信に  
縮こまるのではなく、  
それ以上に  
ポジティブに発信  
していくには良い



行政は、  
そして自分は、  
なぜそれを  
やりたいのか

片書きではなく  
個「人」として  
認識すれば  
興味が湧く

# 熊本市組織図

議会局	総務課－議事課－政策調査課
会計総室	
政策局	総合政策部－政策企画課－国際課－広報課 秘書広聴部－秘書課－広聴課 旧熊本市民病院解体対策室 危機管理防災総室 東京事務所
総務局	行政管理部－総務課－法制課－改革プロジェクト推進課－人事課－労務厚生課－管財課 デジタル部－情報政策課－デジタル戦略課－システム推進課 契約監理部－契約政策課－工事契約課－技術管理課
財政局	財務部－財政課－債権管理課－資産マネジメント課 税務部－税制課－市民税課－固定資産税課－納税課
文化市民局	オンブズマン事務局 市民生活部－地域政策課－地域活動推進課－生涯学習課－生活安全課 人権推進部－人権政策課－男女共同参画課 文化創造部－文化政策課－文化財課 熊本城総合事務所－熊本城調査研究センター
健康福祉局	指導監査課 福祉部－健康福祉政策課－保護管理援護課－高齢福祉課－介護保険課 障がい者支援部－障がい保健福祉課－子ども発達支援センター－障がい者福祉相談所－こころの健康センター 保健衛生部－医療政策課－生活衛生課－動物愛護センター－食品保健課－感染症対策課－新型コロナウイルス感染症対策課－健康づくり推進課－国保年金課 子ども未来部－子ども政策課－子ども支援課－児童相談所－保育幼稚園課
環境局	環境推進部－環境政策課－環境共生課－水保全課－環境総合センター 資源循環部－廃棄物計画課－環境施設課－ごみ減量推進課－浄化対策課－北部クリーンセンター－西部クリーンセンター－東部クリーンセンター－東部環境工場
経済観光局	産業部－経済政策課－商業金融課－産業振興課 観光交流部－観光政策課－誘致戦略課－動植物園 スポーツ・イベント部－スポーツ振興課－イベント推進課－競輪事務所
農水局	農政部－農業政策課－農業支援課－農地整備課 北東部農業振興センター－農業振興課－基盤整備課 西南部農業振興センター－農業振興課－基盤整備課 水産振興センター
都市建設局	都市政策部－都市政策課－市街地整備課－都市デザイン課－開発指導課－震災対策課－建築指導課－植木中央土地区画整理事業所 交通政策部－交通企画課－移動円滑推進課－自転車利用推進課 住宅部－住宅政策課－市営住宅課－空家対策課 公共建築部－建築保全課－營繕課－設備課 土木部－土木総務課－道路計画課－道路整備課－道路保全課－河川課－公園課－用地課

## 都市政策研究所

### 中央区役所

区民部－総務企画課－区民課－中央区まちづくりセンター－中央区土木センター  
保健福祉部－福祉課－保護第一課－保護第二課－保健子ども課

### 東区役所

区民部－総務企画課－区民課－託麻まちづくりセンター－秋津まちづくりセンター－東部まちづくりセンター－東区土木センター  
保健福祉部－福祉課－保護課－保健子ども課

### 西区役所

区民部－総務企画課－区民課－西部まちづくりセンター－河内まちづくりセンター－花園まちづくりセンター－西区土木センター  
保健福祉部－福祉課－保護課－保健子ども課

### 南区役所

区民部－総務企画課－区民課－富合まちづくりセンター－飽田まちづくりセンター－天明まちづくりセンター－幸田まちづくりセンター－城南まちづくりセンター－南部まちづくりセンター－南区土木センター  
保健福祉部－福祉課－保護課－保健子ども課

### 北区役所

区民部－総務企画課－区民課－植木まちづくりセンター－北部まちづくりセンター－清水まちづくりセンター－龍田まちづくりセンター－北区土木センター  
保健福祉部－福祉課－保護課－保健子ども課

### 消防局

総務部－総務課－管理課  
予防部－予防課－指導課  
警防部－警防課－情報司令課－救急課  
中央消防署－東消防署－西消防署－南消防署－北消防署－益城西原消防署

### 交通局

総務課－運行管理課

### 上下水道局

総務部－総務課－経営企画課－料金課－給排水設備課  
計画整備部－計画調整課－水道整備課－下水道整備課  
維持管理部－水道維持課－下水道維持課－水運用課－水再生課

### 病院局

熊本市民病院  
事務局－総務企画課－医事課－財務課－植木病院事務局  
植木病院

### 教育委員会事務局

教育総務部－教育政策課－学校改革推進課－学校施設課－青少年教育課－図書館－博物館  
学校教育部－指導課－教職員課－総合支援課－健康教育課－人権教育指導室－教育センター  
高等学校 2 校－特別支援学校 2 校－専修学校 1 校－中学校 42 校分校 1 校－小学校 92 校－幼稚園 6 園  
学校給食共同調理場 13 場

監査事務局

人事委員会事務局

熊本市選挙管理委員会事務局

区選挙管理委員会事務局（5）

農業委員会事務局

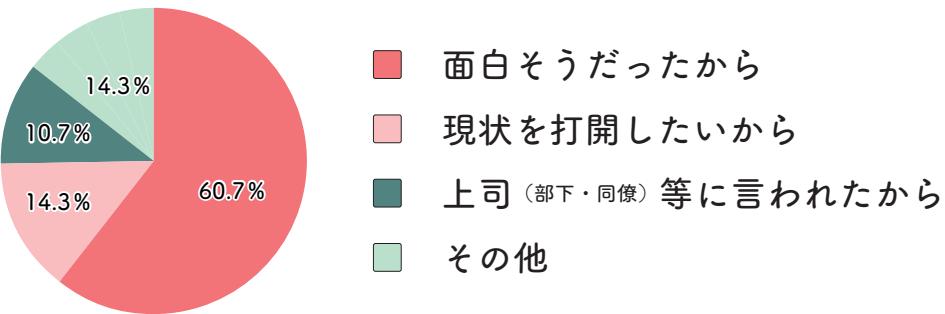
13 / 200 課  
に伺いました！

(2023 年 3 月現在)

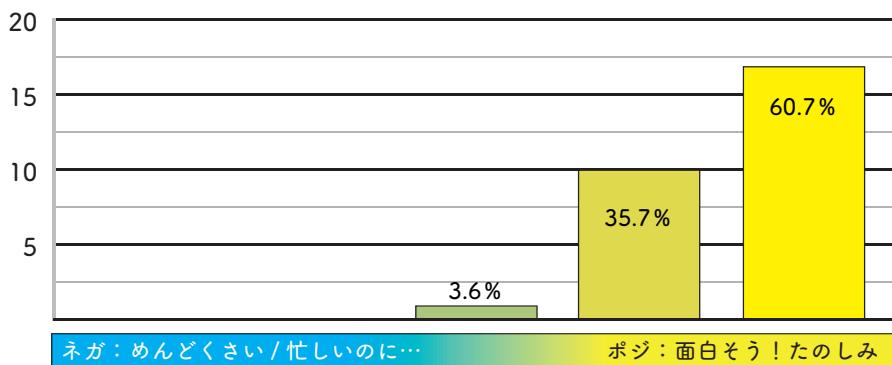
# アンケート 参加した市役所職員に聞いてみました！

(n=28)

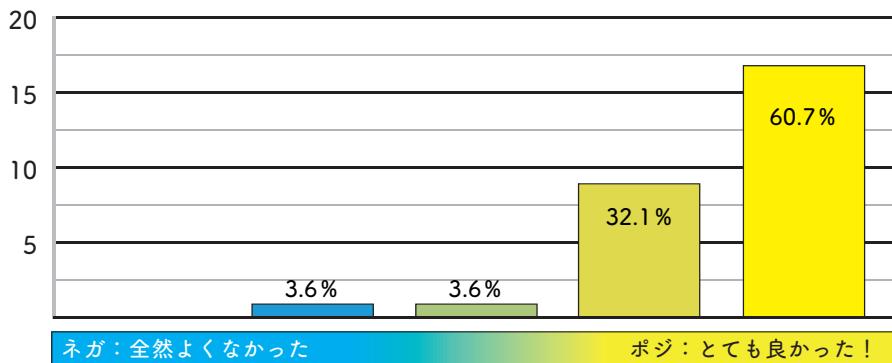
## ご用聞きに参加した一番の理由はなんですか



## 現代美術館の館長がご用聞きに伺うと聞いたときの正直な気持ちを教えてください



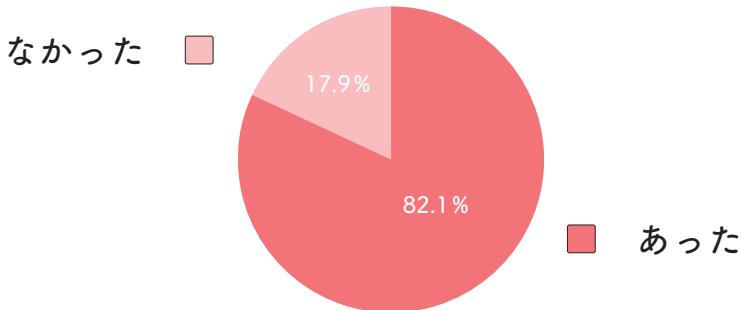
## では、実際に参加してみていかがでしたか



## なぜそう思ったか、教えてください

●異なる視点（アート？、人としての魅力）からの会話が、素直に面白かった ●日比野館長のアーティストの視点からのお話を聞くことができたから ●ヒビノに会えたから ●行政では持ち得ないアーティストとしての視点を共有してもらえたため ●実際参加してみると自分自身が変われるような気がした ●仕事を進める上で、これまで、いかにわかりやすい資料を作り、いかにわかりやすく説明し、いかに府内外の納得を得るか、を念頭に、可能な限り情緒的なものを排除しながら進めてきたように思います。館長の、情緒⇒言語⇒論理⇒科学のお話をお聞きし、まだまだ自分の中でぼんやりしているところもありますが、一人一人の感性みたいなものも尊重しながら仕事を進めて行くことも重要なんだということに気が付きました ●新しい視点、考え方を聞くことができたから ●首都圏でのプロモーションにアートの視点を取り入れることができればとご用聞きをお願いしました。結果、「プロモーションとは」「まちづくりとは」という根源的な話になり、当方にとっては「気づき」につながる有意義な時間となりましたが、日比野館長や貴館にとっては面白味が少ない回になってしまったのではないかと心配しています ●ポジティブな人の話を聞くことができた ●館長の経験上の話が面白い ●自分が日比野さんとお話しした時は、自分の心のモヤがクリアになった気がしましたし、次の展開を考えたとき、現代美術館と一緒に何かできそうな気がしたから。自分の上司が日比野さんと話したときは、なかなか噛み合わなかったので、正直ドキドキしていました ●あまり時間が十分ではなかった ●こちら側の視点とは違う意見や感想があったから ●日比野さんが地域課題に関心があられることが分かり、同じ目線でお話できたから ●ネガティブな話なのに、色々楽しいアイデアをいたたき、最後、ポジティブな気持ちになった ●既存の公園をさらに良くする企画において新たな発見ができた ●日比野館長の発想が自分と全く違うところにあるので、話を聞いてて楽しかったです ●ある地域でご用聞きをお願いした際に、既にまちづくりに携わっている若者がいて、スマールスタートの大切さを教示されていた。私どもが、長年まちづくりに携わって理解できることであるため、ご経験、ご知見の豊富さを感じました ●今まで視野が固定されていたのがお話を聞いてぱっと広がりました ●普段の業務ではあまり接する機会のないアートという新たな視点から、市電についての意見や考え方を館長から直接聞けたこと ●参加した職員の意識が少なからずポジティブに変わったこと ●熊本市の中心に位置する美術館で様々な市の関係の方々と関わることです。市役所の方、美術館の方々のお話をワクワクしました ●サッカーの話しができたからです ●なんで交通局にって思いましたけど、どんな話が聴けるか楽しみでした。色々なジャンルの話しが聞けて、電車や美術のことで話しができたので良かった ●働く人の違う意見を聞いて楽しかった ●今の現状にプラスアルファ出来るかなと思いました ●少しお話が長く感じ、後半の内容が解らなかったです… ●走行車内ではなく車庫内で良かったのでは ●多様な考え方を聞いて良かった！

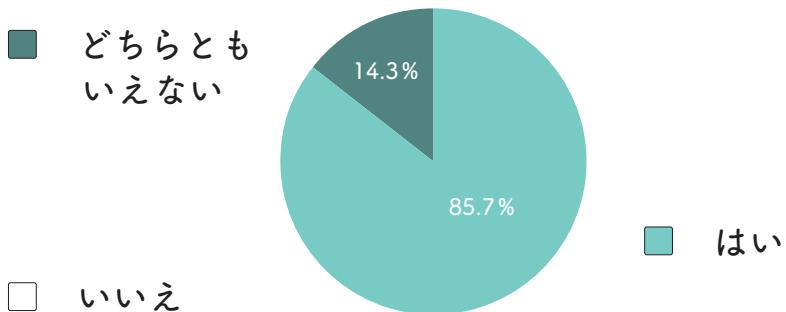
ご用聞きの前と後で、自分の気持ち／心に変化がありましたか



「あった」と答えた人は、それがどのような変化だったか教えてください

- アート的な思考をまちづくりや学校づくりに活かしたいと思うようになった ●プロジェクトの助言をもらい、閃きを得たこと ●業務の可能性を広げることを意識するようになった ●何事にもポジティブにできるようになった ●一人一人の感性みたいなものを尊重しながら仕事を進めていくことも重要 ●業務を遂行するだけでなく、想いも大事にしながら業務にあたったほうがよいと感じた ●改めて、事業の目的を考えるきっかけになりました。具体的には、首都圏プロモーションの目的は域外需要を取り込みはもちろんですが、熊本市民のシビックプライド向上も含まれることに気がつきました ●物事の考え方方が、原因を追究するのではなく未来を思い描いて考えるようになるきっかけになったと思う ●自分の仕事と美術には深いつながりがあると実感できた ●芸術をまちづくりに生かせることに気づいた ●お話しさせていただいて、考えがスッキリした ●いろいろなアイデアをいただいてので、是非実施したいと思う ●物事をこれまでの既成概念や経験だけで見るのではなく、新たな視点で見ることも大事ということ ●やる気が出ました！ ●より一層、携わらなければならぬと感じました ●話をお聞きするとモチベーションが上がります ●熊本市電は熊本市にとって貴重な財産であるという認識と守り続けていかなければならないという思いが強くなった ●館長と乗務員の会話を聞きながら、事務職としては、乗務員が市電の根幹であることを感じ、かつ、もっと乗務員がスポットライトを浴びるような取り組みが出来ればと思った ●今有る物を生かし、大切にしようと思いました。熊本はアートの宝箱だと再確認しました ●仕事へのこだわりを持って日々乗務しています ●熊本市電を盛り上げていこうと思いました ●仕事中に視点を少し変えて、熊本の風景を観察した ●アートの考え方方が改められた

またご用聞きに来てほしいと思いますか



印象に残っていることや言葉があれば教えてください

- **場所の力ってあるじゃない** (多様性の文脈から) ● 熊本市自体をアートで変えていく ● 見せ方大事だよね、興味を惹くキャッチャーな言葉で取り組みの魅力が高まる ●
- 規格をつくるとつまらなくなる**、競争することで生まれるものもあるのではなかいか ● アートの考え方で人とのつながりや課題解決に向けた取り組みの講話 ● 情緒⇒言語⇒論理⇒科学 ● 鑑賞するだけがアートではなく、**行動することもアート**である
- 「熊本が嫌い」という人は、まずいない。それ以上に、何を知ってもらいたいかが重要であり、自分たちが熊本を知る必要がある ● スイッチを切り替えて、「まち」「くらし」が美術館になる ● ただの物質としての絵を見たとき、未来や過去を思い描いたりして時間が止まる瞬間、気づきを与えてくれるきっかけになるのがアート ● 人の根源的な力を借りる
- **ゴッホのひまわりはただの油** ● **アートは人の心を動かす** ● 多文化共生社会を進める上で、子どもが大事なので、インターナショナルスクールが大事 ● 公園内の歩道の汚れた壁面を熊本地震で割れた陶器を市民が持ち寄って貼っていくという企画 ● **みんなで作り上げるプロセスを大事に**する ● スモールスタートの大切さ ● 無理に揃えるよりことよりも、**ばらばらの個性をどう魅せるか**が大切 ● 館長の出身地である岐阜市にはかつて路面電車が走り、廃止となったが、無くなつてからその価値に気づいても、それを取り戻すことはできない ● 乗務員のトークショーが企画として挙がったこと。全く考えたことがなかったので ● “アート”と美術館の方の音楽のお話が耳に残っています ● 「市電」を絶対無くしてはダメ！って言われたこと ● 電車の洗車を行うということ

現代美術館（の館長）が市役所にご用聞きに伺うこの取り組みにはどんな意義や可能性がありえると思いますか

- 刺激、新しい視点の提供（本質を考える、仕事を俯瞰するメタ認知？） ●行政の課題が解決できれば、市民の課題の解決につながる。そのためには、市民が「やってみたい」「税金を払ってでもやってみたい」と思える考えや場所が必要だと思います。**その先に人の物的・精神的な豊かな（Well-being）人生や社会が待っている**と思います
- 顔が繋がると、現実が何かコトを起こす時スムーズに行くと思います。アーティストを街につなぐのに役立つかも？ ●**遊び心をもって仕事に取り組む人が増える**可能性を感じる ●職員に柔軟な発想力を与える点 ●**壁を超える考え方、視点を得る**ことができる。ただし、業務の条件が多いため、なかなか実施するのは難しい。そうすると、言われたことだけやる職員が増えていく。そこでご用聞きでディスカッションして、考えをリフレッシュさせる効果がある ●**改めて事業の目的などを考える**きっかけになり、その後の事業展開に良い変化が生じると思います ●思いつかなかった視点からのものの見方ができるようになること ●日比野さんや現代美術館の方といった、日常的に接点がない方との対話を通して、**さまざまな価値観に触れる・知ること**に意義がある ●新たな視点で事業アプローチを考えることができる（実現できるかは別問題ですが） ●現代美術館と連携した取り組みで一体感がある ●普段の業務では見失いがちな、**市民視点を取り戻す**ことができる ●井の中のかわづではなく、新しい発想をいただける。熊本市**職員のつながりを広げてくれる** ●アートの視点を市の事業に加味することができそう ●トップ自らが、街の声や若手職員の意見、悩みを把握されることで、本質的な問題、課題が浮き彫りとなり、スピード感を持った対応が可能となると考えます ●やはり刺激になります。**目先の目的（私たちに課せられている施策等）ではなく本質の目的（まちの方々や周辺住民の幸せ）を考えるきっかけ**になります ●アートという新たな視点により、業務の幅が広がる ●意識改革…個人で違うかもしれません、館長と話すだけで**ポジティブな意識に変わる**と思います ●**市民、行政、熊本の一体感を感じれる**、古い物を生かす ●異業種交流的な感じで色々と意見交換が出来、改善点がでてくる可能性があると思います ●どちらにでもお互いをアピールする事ができ、多くのお客様の目にとめてもらえる ●**街が動く感じがする** ●外部のことを知ることは必要だと思います ●日常業務を違う角度から考えられる。

## ご用聞きに対するリクエスト・要望があればおしえてください

- 日比野克彦と小中高生が対話しながら考えるジブンゴトとしてのまちづくり ●**聞いたの  
ちに自らアクション！** ヒビノじゃなくてクルーが ●他の部署のご用聞きの様子も見てみたいで  
す ●また、まちづくりサロンに来てほしい ●**ご用聞きから発生したプロ  
ジェクトに予算をつける** ●**ご用聞き後の報告の機会があれば、嬉しいで  
す** ●**ご用聞き後のフォローがあると、より実効性の高いものになる** の  
ではないかと思う ●**対話は重ねてナンボ** なので、定期的にやりましょう ●郊外の地  
域住民と対話してほしい ●事業や課題解決など、何か一つ具体的な取り組みが作り上げられ  
ると面白いなと思います ●回を重ねる度に伝えたいことが見えてくるよう、また次回の開催  
を楽しみにしています ●この取り組みは定期的に**複数回行うことが重要** だと思います  
●具体的に**一緒に事業を進めてみたい**

最後に、市役所の「役割 / ミッション」を  
“一言”で表すとしたら？

**公共の福祉、まちなかの活性化 Well-being な都市づくり**

**市民の善さをイカす。(異化、生か、烏賊) 何かをするときの「場」づくり**

**市民の意識変化に柔軟に対応できる組織構築**

**多様な主体との連携しながら、あらゆる場面で可能性を追い求める**

**動かない事業などにおいては、市民の行動の方向付け。動いている事  
業については、援助。市民生活だけでなく、経済活動も動かすための  
潤滑油。ミッションは、思考すること、行動すること。**

**熊本市ファンを増やすこと 市民の笑顔**

**人の幸せな暮らしを応援すること**

**円滑で信頼性のある市民サービスの提供**

**合意形成 市民幸福度の向上**

**可能な限り、多くの方が、熊本市は住みやすいと思うまちをつくること**

**「誰もが憧れる上質な生活都市くまもと」の実現**

**みんなを楽しい気持ちにさせること**

**市民の方々が生活するなかで幸せを感じる瞬間を1つでも増やすこと！**

**市民サービスの提供 市民全員の奉仕者となること**

**明るく元気、アートな熊本を守る 市民の生活の質向上**

**市民の暮らしを支える 市民奉仕 幸福の最大化 市民の応援団**

## モヤモヤした心を片付けないために

—熊本市現代美術館の館長が市役所に「ご用聞き」に行く理由—

「ご用聞き」が始まった背景や、1年半に及ぶ取り組みから見えてきたアートと「ご用聞き」の関係性について、日比野克彦館長が語ります。

---

—2021年6月に熊本市現代美術館館長に就任された日比野さんですが、今回の「ご用聞き」という取り組みが始まった背景について教えてください。

私が館長に就任した翌月に、「災害時のアートインフラを考える」というシンポジウムを開催しました。熊本市はここ10年の間に熊本地震や集中豪雨などの災害を経験していますが、これまで日本各地で大災害が起こるたびにその重要性が叫ばれてきたのが「人と人のつながり」でした。ガス／水道／電気だけがライフラインじゃない。人間らしく生きのびるために誰か（時には自分自身）とのコミュニケーションが欠かせないですよね。そしてそれは、非常時だけでなく日常的に地域で取り組んでいかなければならない課題だと思っています。こうした意味で、アートがもつ「人の心を動かす力」や、近年では「リレーションナルアート」と呼ばれる人と人の関係性の中でアートを生み出す表現行為などがいま、自治体行政のニーズと重なってきているように感じています。では、熊本市には具体的にどんな課題があるのだろうと考えた時に、それを一番分かっているのはやっぱり熊本市役所なのではないかと、最初は漠然と考えていました。

一番最初に具体的な提案をしてくれたのは、副館長の岩崎さんでした。岩崎さんは熊本市現代美術館の立ち上げから市の外郭団体の職員として関わっていて、市役所内に間借りして仕事をしていた時期もある人です。そんな彼女が「市役所に『ご用聞き』に行ってみますか？」と。「ご用聞き」という言い方もその時に初めて出てきたと思います。

一市役所って、そんなに気軽に声がけできる存在なのでしょうか。

熊本市現代美術館と市役所は「近い」存在なんです。まず、地理的な近さとして、本当に徒歩圏内にあるんですね（p1 参照）。だから、何か連携しようと

思ったときの物理的 / 心理的ハードルがかなり低かった。コミュニケーションだけならオンラインでもできてしまうけれど、それと同じくらい気軽に対面で会いに行ける距離感だったというのは大きかったと思います。もう一つは、関係性としての近さ。そこには橋渡し役としての岩崎さんの存在も大きいのだけれど、熊本市に来て一番印象的だったのは、例えば市内の商店街でワークショップをする時に、熊本市の職員がよく現場にきてスタッフとして動いてくれていたことです。そういう関係性は一朝一夕には築けないものなので、私が館長に就任した時にすでにそういう土壤があったことも今回の「ご用聞き」を可能にしていると思います。

—1年半やってみて、いま、この取り組みにどんな手応えを感じていますか。

いろんな形で「ご用聞き」をさせていただきました。イベントっぽいスタイルだったり、市電の座席で話したり。でも、実際にやってみて感じた「ご用聞き」の真骨頂は、実は市役所の執務スペースでやるスタイルかなと思っています。市役所の窓口にいくと、奥に事務机が並んでいますよね。いつも職員の方が仕事している、あそこでやりたい。「ご用聞き」は会議ではないので、そのために場所を用意したり、お茶を用意したり、議題を事前に整理したりということは必要ありません。パソコンを打ちながらも時々耳だけ傾けている職員の方がいてもいい。できるだけいつもの場所で、ちょっと油断できる環境で、い



つもと違う会話をすることが大切だと感じています。本当はノーアポで行きたいくらい。

たぶん、「ご用聞き」がやっていることは「場づくり」なんだと思います。それも、答えが一向にでてこない「モヤモヤした心のための」場づくり。多くの仕事が、全体としては、できるだけ曖昧さをなくし、目標を最短距離で達成することを目指していますが、働く一人ひとりの心の中には「本当にこれでいいのかな」とか、「もっとこうしたいな」とか、いろんな気持ちがあるはずです。そういう心を、無理やり片付けずに済む機会を「ご用聞き」を通してつくっている感覚があります。

私は最近、自分がこれまで携わってきたアートを「人の心を棲家とする生態的な動き」だと捉えるようになりました。モヤモヤしたものがモヤモヤしたままでいられる人の心にはアートの居場所が生まれます。そしてアートの働きによってその人の心が動き、周囲の人との関係性も変化していきます。今後、市民の課題解決のために市役所のみなさんがさまざまな仕事をしていく時に、みなさんの中に棲みついたアートがきっと、より豊かな街づくりの支えになってくれるはずです。「ご用聞き」はいま、そんな方向を向いた取り組みになりつつあると感じています。

### —今後の展望を教えてください。

これまでに13課を訪問しましたが、熊本市役所の課は全部で200課ほどあるそうなので、まだまだ始まったばかりです。これを読んでいる熊本市職員の“あなた”的課にも、伺いたいと思っています。また、誰に言われたわけでもなく熊本市で私たちが勝手に始めたこの取り組みを、全国の自治体のみなさまにも一つの事例として共有しながら、同じような場づくりが拡がることを期待しています。

つながっている  
場所があれば、  
多様な生き方が  
あって良い

考え方方が違うのは  
当たり前の  
他者を受け入れる  
のではなく  
他者は自分と違う  
ことを受け入れる

↓  
「小偷快」  
アソブ  
ポジティブ  
“情”  
地獄づくり  
苦(イジメ)  
(考え方)  
じぶんごと  
しあわせ  
「可能性」  
前をむく  
アート!  
“ようちよ  
アーティスト (3文字)  
~~アート~~、ありかべく  
正直  
いき動く、  
モチヨー、or ツツツ、  
かんがえる  
『たまご』  
市民のんば  
モカモカ  
かくれく

2022年12月10日「ご用聞き」1周年記念公開座談会参加者へのアンケート  
「今の気持ちを5文字以内で表すとしたら？」より



こちらのフォームから  
ご用命いただけます！

## ご用聞き 熊本市現代美術館の館長が市役所にご用聞きに行く理由 0号

発行 | 熊本市現代美術館（公益財団法人熊本市美術文化振興財団） 館長 日比野克彦

編集 | 岩崎千夏 渡辺龍彦（遊と暇）

デザイン | 藤田瞳（acre）

協力 | アンケートにご協力いただいた熊本市職員のみなさま

印刷 | 有限会社さかき印刷

2023年3月28日発行

〒860-0845 熊本市中央区上通町2番3号

TEL 096-278-7500 FAX 096-359-7892

MAIL gamadas@camk.or.jp

<https://www.camk.jp/>

©CONTEMPORARY ART MUSEUM KUMAMOTO.2023 Printed in Japan



\*この冊子は令和4年度 文化庁 Innovate MUSEUM 事業により制作されました。